

令和４年度第２回西淀川区区政会議

１ 開催日時：令和４年９月２９日（木）午後６時３０分～午後８時３０分

２ 開催場所：西淀川区役所５階 会議室

３ 出席者の氏名：

（委員：敬称略、50音順）

伊関、井上、植木、浦中、大垣、大西、岡本、香川、柴崎、菅野、砂川、多田、
中田、中原、西川（奈）、西川（博）、長谷部、平井、藤江、藤田、山本、吉田、
吉見

（事務局：西淀川区役所）

中島区長、難波副区長、奥本総務課長、西尾政策共創課長、近藤地域支援課長、
木村安全まちづくり担当課長、松本窓口サービス課長、貴志保健福祉課長、山城
生活支援担当課長、横内こども福祉担当課長、青木保健主幹

（府市会議員）

荒木市会議員、佐々木市会議員、山田市会議員、中川府議会議員

４ 議題

（１）「西淀川区で自転車を活かしたまちづくり」について（委員提案）

（２）区役所の情報発信について

（３）グループ討議「各分野での区民が考える魅力ある情報とは」

５ 議事内容

○大垣議長

こんばんは。ただいまから、第２回区政会議を開催いたしたいと思います。よろしく
お願いします。

事務局であります区役所から、本日の議事進行について説明をお願いいたします。

○西尾課長

こんばんは。西淀川区役所政策共創課の西尾でございます。

本日の会議は、現時点で22名の参加でありまして、定員27名の過半数を超えていることから、会議が成立することを確認いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

次に、議事についてですが、次第を見ていただけますでしょうか。まず、1つ目としまして、西淀川区で自転車を活かしたまちづくりについて、藤江委員の提案でございます。2番目に区役所の情報発信について、私からご説明させていただきます。そして、3のグループ討議、各分野での区民が考える魅力ある情報とはということで、皆さんにグループディスカッションをしていただこうと思います。

それでは、資料の確認をさせていただきます。

まず、資料の1でございます座席表、裏が委員名簿になっております。そして、資料2としまして、区政会議の質問・意見に対するその後の対応ということで、A3の折り曲げた資料でございますが、これは郵送やメールで送らせてもらった資料と同じでございます。皆さんに一度見ていただいている資料でございます。そして、次のホチキス止めで「西淀川区で自転車を活かしたまちづくり」、あおぞら財団の藤江徹さんの名前が入っております。そして、区役所の情報発信というホチキス止めでございます。資料5としまして、グループ討議についてということで、1枚物でございます。その次に、西淀川区公式LINEほっとえーる、西淀子育てほっとえーるのチラシがございます。そして、西淀川区健康いきいき展のチラシがございます。そして、大和田歴史散歩のチラシがございまして、最後に、報道発表資料、みてアートチェックインウオーク2022という資料でございます。

以上が資料でございます。ない方等がございましたら、おっしゃっていただいたらお持ちさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

この区政会議の実施状況はホームページや広報紙等で報告させていただきますので、写真を撮らせていただきたいと思います。皆さん、ご了承いただきますようよろしくお願いいたします。

それでは、議長、お願いいたします。

○大垣議長

はい、ありがとうございました。

議事に先立ちまして、区長さんよりご挨拶のほうをお願いいたします。

○中島区長

皆様、こんばんは。本日はお忙しい中お越しいただきまして、本当にありがとうございます。また、平素は、区政及び市政にご協力、ご支援を賜りまして誠にありがとうございます。

前回の区政会議は2025年に西淀川区が区政100周年を迎えますので、そこについてのいろいろご議論をいただきました。そしてまた、その前々回につきましては、すみません、失礼しました。前回の区政会議のほうは、西淀川区が2025年に区政100周年を迎えますので、そのときにどういう町にしていっていいか、今から何をしていっていいかということを議論いただきました。そして、前々回は環境美化というところもご議論いただきました。今、いただいた、まさにご意見ですね、この辺のところを関係部署、関係者等と今調整の上、こんな形のことをやっていこうというところを練っているところでございます。またこの辺、ある程度決まりましたらご報告のほうをさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

それで、本日は情報についてご議論いただこうと思っておりますけれども、このテーマについては約1年ほど前に、情報の在り方についていろいろご意見いただきました。私どももそれを参考にいろいろ改善方法を図ってまいりました。ただ、今回はもう少し触れて、ちょっと分野別に分かれて、例えば防災、子供というような形での、もう一歩深まった議論というところをいただき、ぜひ私どもも今後の参考にさせていただきたいなと思っているところでございます。

また、本日は藤江委員のほうからご提案いただくということで、本当にありがとうございます。また皆様方もご提案のほうございましたら、よろしくお願いします。

それでは、本日もまた有効な議論というような形で、ぜひ皆様の積極的な議論をよろしくお願ひしたいと思ひますので、本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

○大垣議長

はい、ありがとうございました。

それでは、区政会議の質問のご意見に対するその後の対応について、区役所のほうから説明お願ひします。

○西尾課長

それでは、私から、資料2「区政会議の質問・意見に対するその後の対応」ということで、これにつきましては事前資料ということでお送りさせていただいて、皆さんも目を通していただいているかもしれないですが、若干補足説明させていただきます。

まず、1番目です。「歩くイベントを実施し、歩くことを楽しみにする」というご意見で、この間の7月のグループ討議の中でご意見いただきました。対応としましては、WEBアプリを利用して緑陰道路でウォーキングをするイベント、西淀川イネープリングシティウォークを9月17日と9月25日に実施しました。そして、大和田郷土史会と共創により、大和田歴史散歩を10月23日に実施して、西淀川区の歴史を巡りますということで、後ろから2枚目の資料がついていますが、大和田郷土史会の歴史散歩ということをやらせていただきます。

そして、10月22日開催予定の健康いきいき展の中で江崎記念館まで健康ウォーキングという形で皆さんに歩いていただこうと思っています。こういった歩くイベントもどんどんさせていただきます。ここには、今後も歩くイベントとコラボできる機会があれば、実施を検討していきますと書いてありますが、もう1点、新たなウォーキングイベントをさせてもらいます。報道発表資料、みてアートチェックインウォーク2022という、最後の資料です。これが9月26日、今週月曜日に報道発表された内容でございます。主体は経済戦略局のスポーツ課ですが、みてアートでの緑陰道路でやらせてほしいということで、局との連携の中で実施することが決まりました。これが11

月の5日、6日の「みてアート」と一緒に、チェックインウオークをやります。局を巻き込んだり、企業の方を巻き込んでいろんなウオーキングイベントをやって、みんなが健康になればいいと思っています。今後もいろいろと協力して、共創してイベントを開催したいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

この資料2の補足説明については以上でございます。

○大垣議長

ただいまの説明について、ご意見等がありましたら挙手をお願いいたします。

それでは、次に、前回、区政会議の議題の西淀川区区政100周年記念に向けての関連で、藤江委員から、西淀川区で自転車を生かしてまちづくりという提案がありましたが、その提案の発表のほうをお願いいたします。

○藤江委員

こんばんは。藤江と申します。今日はお時間をいただきましてありがとうございます。前回、100周年に向けて何か提案はないかというお話で、多田さんが防災の発表をされていたのに続いて、私のほうからは自転車をもっと使えないかという提案をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

自転車、皆さん、乗ったことがありますよね。大阪は、実は日本でも多分、一番自転車に乗っている町だと思います。政令市の中でも一番多くて、自転車分担率というのが28%ということで、自転車のまち・大阪といってもいいぐらいよく使われている乗り物だと思います。これが大阪市内ですと大体20キロ四方に入るぐらいですけども、市内の移動であればほぼ自転車で頑張れば行けるというぐらいで、あと平たんであるということで自転車がすごい使われていると思います。

2025年、区政100年をということで、今さら自転車かいなと、皆さん、思うかもしれませんが、今、自転車が新しい未来の乗り物だというふうにも言われておりまして、これをもっと活用できないかと思っています。というのは、今、ガソリンもすごく値上がりして、車で移動するのちょっと環境にどうかという感じもありますの

で、自転車なら自分の脂肪を使って走ることができますので、環境にも自分にもいいということで、もっとこれを使っていきたいという提案です。これは大阪市自体もそういう活用推進計画というのをつくっていて、西淀川も併せてそういう活用をしていけないかなということで書いております。

自転車を使うことでどうなるかということですが、もう既に多分、皆さん、よく使われていると思いますが、まだちょっと危ないなと思うことがよくあると思います。なので、自転車レーンというのを整備しましょうというのが日本全国で進んでいますので、西淀川でもうそういうハード整備もできたり、あと、もっと使いやすくということかというと、今、シェアサイクルといって、乗り捨て、いろんなところでできる自転車の拠点ができております。西淀川でもこれをもっと増やせるかなと思ってます。

あと、この自転車を使うことで、西淀川をもっと楽しむということで、いろんなお店が巡れたり、そういう自転車道を使ったイベントをやることで、もっと外からの人を呼べるんじゃないかという期待を持っております。

3つ目が、そういうことをやるに当たっての何かちょっとイベントとか、あとルールをそもそも守ってないのではという話があるので、子供たちに自転車教室をやったり、一緒に自転車ツアーをやったり、緑陰道路と矢倉、そして2025の万博を目指すようなサイクリングイベントをやったりして、健康になるようなことをやっていく。あわせて、自転車、今、最近はいろんなタイプがありまして、電動アシストもそうですけど、3輪にしてこけないように乗れるとか、2人乗りで乗ることで、障がいがあっても一緒に自転車を楽しめるというようなのが、いろんなタイプが出てきております。ですので、そういうものをもっと使えるような町にしていってはどうかという提案です。

既に西淀川には自転車道が3つ、大きなのがあります。一番よく使われているのが大野川緑陰道路、ここは多分自転車、皆さん、使っておられると思いますが、なにわ自転車道というのと西中島自転車道というのがあります。なにわ自転車道ぐらいは通

られると思いますが、西中島自転車道、多分ほとんど行ったことないんじゃないかなと。実は、もう工業地帯の中の川沿いのところに自転車道がきれいに整備をされておりまして、楽しいかどうかは別にして、安全に走れますというのがあります。これをもっと活用できないかと。

続いて、今、大阪市内全般でもそういう整備が、このちょっと左下に写真がありますけど、車道上に、ここ、自転車走る場所ですよっていうマークをつけるのが増えています。区内はまだ、これがほとんどないと思いますが、淀川渡って中心部のほうは、結構これの整備が進んでいまして、ぜひこれを西淀川区内にも増やしてほしいなと思います。自転車、基本的に左側通行ですけど、結構逆走で走っている人もいますので、そうするとどうなるかという、思いつ切り正面衝突をして危ないので、それを見て分かるように、こういう走る場所での方向を目に見える形にしていってはどうかと。結局事故が起きるのは、歩道上を自転車が暴走したり、交差点で自転車がぶつかるということがほとんどですので、そういうことに注意喚起をするようにしていければというふうに思います。

実は、自転車道の整備は大阪市でも進められようとしていまして、万博に向けて淀川の左岸に自転車道を通すという計画が先日発表されました。南のほうからも万博の会場に自転車で行けるようにするという計画ですが、ぜひこれに乗かって、西淀川からも、2号線と43号線を渡ればすぐ淀川左岸に出ますので、サイクリングロードをつないでほしいと。要は、川沿いに自転車が走りやすい道をつくることで十三のほうにも行けますし、もっと都心部とつながりやすくなるかなと思っております。なので、大阪の中では一番西の端に西淀川区は位置していますので、西から来る人、2号線で来る人は、一番最初に大阪に入るのが西淀川区なので、自転車にのっていうと、大阪の西の玄関口になりますので、何かそういうアピールもして、何か西淀川区をぜひ知ってもらいたいなと思います。

シェアサイクルって見たことございますかね。区内でも最近ちょっと増えてきてい

る白い自転車ですけど、コンビニとか何かいろんな駅に置いていますが、要は行って、違うところに返せるっていうことですけども、「HELLO CYCLING」というところがありまして、これが今12か所、区内にあります。その利用状況をちょっと聞いたのがこれですけど、ちょっと光って分かりにくいかもしれませんが、どんなところから乗ってるかということなんですが、結構、区内でいうと塚本から出来島に向かって縦の線というか、東西の線がよく使われています。ここ、要は電車で行こうと思ったら、1回、梅田に出たり、尼崎に出ないといけないので、ややこしいので、区内で自転車を持っておられる方は、もう普通にその道を自転車で走られていますけど、よそから来たりする人は自転車がないので借りて、そこから動いています。さらに、区外でいうと、例えば工業団地で一番よく使われているのは、尼崎から来る人、尼崎に帰る人が自転車で行ってるというのが一番多く出ています。ほかでも、区内でいうと、十三とか西中島南方とか豊中とか、その辺りですね、皆さんも分かると思いますが、電車だと1回どこか出て、また動かないといけないところ、バスで行けるけどなかなか合わないみたいなのところに自転車利用が増えています。遠いところでいうと、神戸の深江のほうとか東大阪のほうから自転車で来ているか、返している人がおりまして、意外にこれ、電動アシストなので走れます。ですので、これ、設置場所が増えていけばどんどん便利になっていきますので、こういう場所でもしうちも置きたいなという方があれば、僕、別に業者じゃないですけど、何か言います。何か言いますっつてよう分からんけど、すみません。便利になるようになったらええなという話です。これを使ってツアーとかできたらいいなと思っています。

あわせて、こういうちゃんとして乗ろうということで、子供に、子供たちと自転車に乗るイベントをやったりとかツアーをやっているの、こんな機会が増えたらなと思いますし、インクルーシブ・サイクリングって、これ、二人乗り自転車、時々、緑陰道路走らせてもらっていますけど、視覚障がいの人とか、ご高齢でちょっと一人で乗るのは危ないなとか、そういう方でも一緒に楽しめたりするもので、これで少し

健康になっていこうというものです。

実は、最初にも言いましたが、世界各国で自転車の活用が今増えています。要はコロナで人と密になるのが嫌という状態で、公共交通やめてとなったときに、いや、もっと自転車使えるということで、自転車の整備がすごく増えていまして、ぜひ日本でも西淀川がもうトップを切って、こういう町になったらいいなと思っております。以上です。

(拍手)

○大垣議長

はい、ありがとうございます。

ただいまの説明についてということで、何かご意見がありましたら挙手をお願いします。

はい、どうぞ。ちょっとお名前のほうを言っていただければと。

○吉田委員

すみません、吉田と申します。すばらしい発表ありがとうございました。

自分からは区役所の方にちょっと質問があって、前回の多田委員、そして今回の藤江委員と、区政委員の方はすごく画期的な提案を毎回していただいていると思います。そして、多田委員のほうでは、実際に今までもすごいイベントを実行されてきて、そして来月も再来月も実際にイベントとして行っていただけということですが、区政委員の方が、あるいは区民の方がこのイベントをしたい、そしてその現実的なハードルが低かったとしても、大阪市のルールがあるからこれできませんっていうことが今までもあったと思いますし、これからも出てくる可能性はあると思います。そのときに、僕は区政委員の一人として、区政委員の方の提案っていうのをもっと後押ししていきたいなと思っていまして。例えばせっかくこうやって区政会議でみんな集まっているから、大阪市のここのルールがおかしいっていうことを、もしここは変えていったほうがいいのではということをもっと具体的に区のほうから提案いただいて、そ

してそれを、多数決でも何でもいいと思いますが、区政会議として意見を一つにまとめて、そして大阪市のほうに要望していくというような形を取っていけば、区から大阪市のルールを変えていけるような流れを一つつくっていけると思っていました、やはり区民がせっかくいいアイデアをこれだけ出し合っているのに、市のルールがあるから実現できませんというのは、まだまだ西淀川区の発展が妨げられるかと個人的には思っています。

そのために区長にお越しいただいて、政治家の方にもお越しいただいているので、何かせっかくこうやってみんなで集まって、区政委員の方がすばらしい発表をしてくださって、それを区役所と一緒に実現していくのであれば、何か区政会議から一つアクションを起こしていきたいなと思っていて、もしその大阪市のルールで何か壁にぶち当たってしまったときに、西淀川区役所としてこれからどういご対応をされるのかというのを一つお伺いしたいなと思います。

○西尾課長

ありがとうございます。

そのいろんなルール、確かにあると思います、規制といいますか。それには、例えば安全性の問題とか、何のためにこういうルールがあるかというのは必ずあると思います。それによってできないイベントもあると思いますので、そういったことをまず私どもにお知らせいただいたら、各局との調整もしますし、そのルールが本当に変えなければいけないということがあるのでしたら、そういったことも、議論をしながら、変えるべきものは変えていきたいと思いますけれども、先ほど言ったように、必ずルールがあっても、安全性を守るためとか、いろんな理由があって変えられない分もあると思います。その辺は、まず私どもにこういったことを変えてほしいと言っていたきましたら、いろんな関係先とも調整しながら議論させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○大垣議長

はい、あとは。質問、意見ありますか。

はい、どうぞ。

○多田委員

すみません、ありがとうございました。

今話を聞いていて、もう本当にそのとおりだなと思っていて、この地図にもあります、なにわ自転車道と大野川緑陰道路でもうつながって、割と西淀川を半周できるような自転車道が整いつつありますけど、最近、私もちょっと趣味で矢倉の大野緑陰道路を歩いていますけど、意外とウォーキングにはちょうどいい距離ですけど、自転車って意外と短いんですよね、すぐ行けちゃう。この書いてあるルートを自転車で行くと、まあまあすぐ終わってしまうので、例えばこの自転車道路を、もちろん矢倉までちょっと延伸してみるとか、ちょっとスペース的に難しいかも分からないんですけど、この淀川の右岸側の堤防とか、これ、なにわ自転車道路は西淀川に限らず東淀川まで延びているじゃないですか。例えばそこからぐるっと神崎川から淀川の結節点までこう行って、さらにこの堤防を海のほうへ来て、この大野漁港のところで合わせたら、これ、すごく長い自転車道路ができるんじゃないかっていうので、もしよかったらそういう可能性も、西淀川区だけではなくて、市とか区のほうでも検討していただくといいなというふうに思いました。すみません、以上です。

○大垣議長

はい、ありがとうございます。

すみません、お名前のほうも本来ちょっと言ってほしいですね。あと、ないでしょうか。

ちょっと質問してもええ、議長が。

あそこ、緑陰道路ですけど、自転車が通行しているところなんか、あの通行の方向性を間違って走ってはる人が、何かマナーかな、あの辺もまたちょっと改善していかないといけないと思いますので、その辺のところでそんなことがあったらまた。

はい、どうぞ。

○藤江委員

そうですね、左側通行です。

○大垣議長

ねえ。

○藤江委員

緑陰道路の水色のところが自転車道ですけど、2本あるところはできたら左側を走って、反対側の方はこっちを走ればぶつからずに行けますけど、これが1本の場合は、道の左側とこちらで分かれて走る。自転車は左側通行だということをみんなが思ってくれば正面衝突しないのですけど。あとは、並んでいるときに、全部が並んで走るなどとは言いづらいですけど、追い抜くときに、ちょっと通りますよって声かけたら危なくなくていいですけども。そうですね、あとは歩行者優先ってということと、交差するところですね、そこだけ自転車の人は気をつけてやって言わないと危ないですね。

○大垣議長

はい、ありがとうございます。

そしたら、次行ってよろしい。

はい、どうぞ。お名前、すいません。

○吉見委員

すみません、吉見と申します。藤江さん、すてきな発表ありがとうございました。

僕も先日、シェアサイクリングに登録したばかりで使わせてもらったところですけども、僕は城東区在中でして、西淀川区で働いているので、イベントなんかがあれば子供を連れてこちらのほうによく遊びに来ますけれども、シェアサイクルなどで、自転車いっぱいポートができて便利だとは思いますが、子供を乗せるタイプの、子供がうち4歳なので、ちっちゃい前籠みたいなものがあればうれしいかなと思います。

あと、どうしても自転車は事故のリスクも高いので、今、自転車保険も結構ありますので、そういったところの啓発も併せてしていただければ、より活用に安全性といえますか、保険などもできれば、使う人も増えていくのではないかなと思いますので、そういったところもお願いできたらと思います。以上です。

○藤江委員

言うときます。言うときます。子乗せ自転車とか、子供用自転車もそれは借りれたほうが良いと思います。さっきの二人乗りとかもシェアできたらいいなと思いますので、そういう声は出していきたいと思います。

○吉見委員

お願いします。

○藤江委員

自転車保険は、皆さん、ぜひ入りましょう。そんなに高くないと思います。

○大垣議長

はい、ありがとうございました。

それでは、次へ行かせていただきます。藤江さん、ありがとうございました。

続きまして、議題の2、区役所の情報発信に移ります。

事務局から説明のほうお願いいたします。

○西尾課長

すみません、それでは、私から「区役所の情報発信」について説明させていただきます。

まず、区役所情報発信、広報紙「きらりにしよど」は毎月、紙ベースで全戸配布させていただいています。区のトピック情報とか区政情報、イベント情報も含めて、いろんな啓発も載せさせていただいています。また、一月に1回発行で、紙ということで、なかなかリアルタイムじゃなくて、原稿は2か月前から準備しないといけないというような状況です。何か臨機応変さっていうのはなかなかこの「きらりにしよど」

にはないのかなと思っています。

そして、次の下の、区ホームページです。これは月のアクセス数が4万7,963件、8月で延べ4万7,000人の方が見ていただいているということでございます。これについても、情報は載せているけども見に来ていただかないといけないということになります。

そして、次のページの、区公式LINEは去年の8月から実施させていただきまして、これはプッシュ通知ということで、LINE登録しましたら、大体週に1回ぐらいイベント情報とか、いろいろな情報を流させていただいています。現在、友だち数は4,510人ということで、始めてから1年間で4,500人ということです。区民9万5,000人からすると、まだ5%程度ですけれども、これはほかの区に比べても始めてから1年としてはかなり多くて、人口比でいうと24区中2番の多さということになっています。このLINEですと、お年寄りも、ある程度の方が使ってらっしゃるので、このLINEをどんどん広めていきたいと思っています。このLINEを登録すると、この下にもあるとおり、いろんなことが見られるんです。例えば「暮らし、情報」ということで、防災情報なんかでいうと、GPSで津波避難ビルが分かったり、あと、ごみの収集日、粗大ごみの分別の方法などもわかったりします。そして、「こどもほっとえーる」は子育て情報を集めたホームページでございまして、ここにも繋がります。このLINEはプッシュ通知だけでなく、そこを入り口にしてホームページに繋がりますので、かなり便利で、区役所は一番推しています。皆さんも登録いただき、皆さんの地域の方、関係者の方にもぜひとも登録いただきたいです。防災無線などの放送もございますけれども、あのときにも同じ内容をLINEで送らせていただいています。訓練で、家の中におられたら聞こえないということもありますけど、LINEで同じ内容が見られるということでございますので、ぜひともご登録いただきたいと思います。この様な情報発信を区役所ではやっています。

そして次の、これが区のツイッターです。LINEは友だち登録した人にだけ届き

ますけれども、ツイッターは拡散することができるので、これは全世界に飛んでいくということです。

そして次の、フェイスブック、これもツイッターと同じように、拡散するので、これは区民の方以外にも広く区の情報を区外にも発信できるっていうのはこのツイッターやフェイスブックでございます。このフェイスブックは文字制限もございませんのでいろんな情報、そしてここからいろんなリンクを貼ってホームページに導くということもできますので、いろんな情報発信をしています。でも、一番皆さんにやっていただきたいものはLINEですね。LINEをやっていただくと、いろんな情報が手に入っていると思います。そして次の、区公式ユーチューブです。今、上がっている写真が、大阪市立佃小学校の開校150周年ということで、取材に行きまして、その様子を上げさせていただいています。こういったイベント情報とか、いろいろなハウツー物も含めて情報を発信させていただいていますので、皆さんがご自宅で見ることができるということでございます。この間の第2回のにしよど青空コンサートはたくさんの方が見に来ていただきましたけれども、これも情報発信させていただいてまして、ユーチューブの登録者数が227人となっていますけれども、視聴者は登録しなくても見られるので、見た視聴者の人は1,200人を超えています。来場しなくても1,200人の方が見ていただいているということでございます。いろんな区役所のツールを用いて、いろいろと発信させていただきたいと思っています。

ただ、先ほども言ったように、いろいろと情報は発信しますが、その情報が本当に皆さんに有益な情報なのかということもございます。ですから、今日は皆さんに、そういったところをディスカッションしていただいて、有益な情報をできるだけいろんなツールで発信させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

情報発信については以上でございます。

○大垣議長

ただいまの説明について、ご質問がある方は挙手でお願いいたします。

はい、どうぞ。

○西川（奈）委員

すみません、西川です。ちょっと質問ですけど、結構西淀川区内にも外国籍の方と
かっっておられると思いますけど、外国語に対応している情報というのは、例えばどこ
に載っていますかみたいに聞かれたら何を勧めるのがいいですか。

○西尾課長

外国の情報につきましては、例えば今、外国人向けに、観光者、外国から来られた
方に向けていろんな交通情報とか、防災情報とか載せているサイトがあります。そこ
に行くと、多言語のサイトがございますので、こういったカードがありますので、ま
た今すぐ持ってきますので、皆さんに配らせていただきます。それを登録いただくと、
多言語でいろんな情報が入ってくると思いますので、ぜひとも皆さん、そういったこ
とも勧めていただいて、カードはまだございますので、必要があればまたお配りさせ
ていただきます。今日はまず持って帰っていただきたいと思いますので、またそのサ
イトのカードを持ってまいりますので、よろしくお願いいたします。

○大垣議長

はい、ありがとうございます。

あと。

それでは、議題の3、意見交換というようなことで、グループ討議について事務局
から説明のほうよろしくお願いいたします。

○西尾課長

それでは、私から、資料5のグループ討議を説明させていただきます。

まず、このグループ討議に沿って進めていただきたいのですが、あらかじめ議事進
行役として、区役所からお願いしている方が各グループにおられますので、その方は、
挙手いただいてもいいですか。この方が司会進行をしていただきますので、どうぞよ
ろしくお願いいたします。

それでは、グループ討議の資料5でございますが、まず、今回のテーマは「各分野での区民が考える魅力ある情報とは」です。この情報というのは、別に区役所からの情報だけじゃなくて、例えば地域のイベントの情報が良いとか、もうどこからの情報じゃなくて、こんなこと知ったらいいのになってという議論をしていただいて、その中で区役所ができること、もしくは関係先に、こんな情報出せないかとお願いすることもございますので、単なる区役所情報だけじゃなくて、皆さんの本当に魅力ある情報と思うことをご議論いただいたらいいと思っていますのでお願いいたします。

まず、背景として、何でこのグループ討議をしたかといいますと、前回のグループ討議の中で、「受け取る側が使いたいと思える情報を発信できているか。一度、区として精査が必要と思う」ということで、使う側が魅力ある情報と感じないと意味がない。情報発信も大事だし、発信するための情報をつくり上げる。恐らく人が集まる地域は、それが両方できていると思うということで、私どもも一生懸命考えさせていただいて、皆さんに有益だと思えることを発信させていただいていますけれども、本当に区役所だけの考えでいいのか。やはり皆さんにいろいろとお聞きして、皆さんが欲しい、皆さんが魅力的やと思える情報を発信したいと思っていますので、ぜひとも今回そういったことを議論いただいて、その情報をどうしたら発信できるのか。さっきも言ったように、区役所からだけじゃなくて、その情報のところからどうしたら情報が皆さんに回るのかということも検討させていただきたいと思いますので、ぜひともよろしくをお願いいたします。

そして進め方としましては、まず、内容の発表者を決めていただく。各自の内容検討について、付箋に記入していただく。付箋に記入したものを順番に発表すると。そして、どのような取組を進めるとよいか意見交換し、グループ内で代表事例をまとめると。そして最後に、1グループ当たり3分程度ということで、今回は67分取らせていただいています。以前からこのグループ討議、もっともっと議論したいというお声が多かったものですから、できるだけここに時間を割かせていただきたいと思いま

す。この右の、内側の時間についてはもう目安でございますので、ファシリテーター、進行役の方が適当に決めていただいたら良いかと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、今からグループ討議に入っていただきたいのですが、グループ討議の、机分けはですね、皆さんのいただいたご希望に添ってない方もおられます。誠に申し訳ございませんが、座席表に基づいて、一番前の左が子ども関連、前の右が防災関連、後ろの右が地域コミュニティ関連、後ろの左が地域福祉関連でまずご議論いただければいいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

そして、大垣議長もあちらの左のほうで。

○大垣議長

はい。

○西尾課長

香川副議長も右の奥へ入っていただけますでしょうか。

○香川副議長

はい。

○西尾課長

席の移動をよろしくお願いいたします。

○大垣議長

はい。ほな、よろしく、皆さん、よろしく頼みます。

○西尾課長

それでは、あとは進行役の方をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

(意見交換)

○西尾課長

少し早いですが、発表したいというお声もございましたので、皆さん、よろしいで

しょうか。

それでは、まず、手を挙げていただいた地域福祉関連の方から発表をお願いしたい
と思います。

それでは、お願いいたします。

(拍手)

○吉見委員

吉見です。ここのテーブルでは、地域福祉のことについてグループ討議しました。
ここのテーブルで提案したいことはですね、「きらりにしよど」のページ増を提案し
たいと思います。

西尾さんのほうから高齢者向けじゃなくて、LINE、ユーチューブ、ツイッター
というような、今、情報発信をされるというようなお話があったのですが、なか
なか高齢者の方には分かりにくい。スマホの使い方もなかなか分かりにくいとい
うところがあるので、どうしても今、高齢者の方が見ておられるというのは紙媒体での情
報になります。ですので、「きらりにしよど」のページを2ページでも3ページでも
増やしていただいて、その増やしたところに高齢者向けのページという形で、内容と
しては、スマホの利用につながるようなスマホ教室であったり、ふれあい喫茶の情報
とか、あとは介護相談の窓口であったり、あと、もうちょっと楽しいような趣味嗜好
の囲碁、将棋のこととか、体に優しいご飯屋さん、体に優しい居酒屋さんであったり、
酒は百薬の長と言いますから。正しいお酒の飲み方といいますか、であったり、どこ
そこの温泉がよかったとか、どこそこのお寺さん、神社さん、よかったよっていうよ
うな旅情報とか、結構お好きな方が多いのでそういったことを載せたりとか、地域の
ちょっと特技を持ったおじさんとか、おばさん、例えばセミ取り名人とか、釣りの名
人とか、そういった方をピックアップして、誰かしらが取材に行って、その人の記事
を載せてみる。じゃあ、ああ、うちの近所にこんな人いてるんだとか、じゃあ、今度、
子供と一緒にその人のところへ行って、セミの取り方教えてもらおうとか、魚の釣り

方教えてもらおうとかってというようなことで、高齢者の方と若い世代、子育て世代が一緒に外に出て遊べるようなきっかけになるような情報発信になるんじゃないかなと思いますので、「きらりにしよど」、紙媒体のページを増やして、高齢者の方にいっぱい見ていただいて、外に出てきてもらおうような情報発信ができればいいかなと思います。以上です。

(拍手)

○西尾課長

ありがとうございました。

それでは、次の発表、どこが。

あっ、はい、あちらのほうで手が挙がりましたので、地域コミュニティお願いいたします。

○藤江委員

はい。地域コミュニティはですね、最初に、広報「きらり」、前より良くなったなっていうところから話が進みまして、読みやすくなったり、写真も増えて良くなっている。じゃあ、これをさらにどうするかということで、これが毎号出るのを楽しみにする人を増やしていくようなことがいるのではと。やっぱりちょっと顔が見えるとか、誰が、あの人とか、この人やったらみたいなのが分かるような記事がやっぱり読みたいと思うし、あとは例えば、キャラを使う、に～よんとかのキャラを使う。そういう知っている人が載っているといいよというのもありますけど、やっぱりちょっと真面目な話とかもなかなか読んでももらえないけど、何か特集記事でインタビューをして、例えば広報誌の活動とかでも大事やけどなかなか、ちょっと書いたぐらいでは伝わらないようなことは、そこに活動をされている方も含めて、ちゃんと伝えることをしたらやっぱり読んでももらえるのではないかというアイデアがありました。

その一方で、この区政会議ででも毎回出るのですが、アイデアいろいろ出るけどどうなっているのかよく分からないと。これは言うたままだと、何か関心が薄れていく。

区報も同じことになってないかと。お知らせだけをしていると、やっぱり何かあまり自分事と思えないので、そういう経過とか、結果も含めて発信するようなことはできないかと。みんなが参加できる、公募とかアイデアの募集をしたりとか、子供や自分が載ってるとか、おお！と思うような記事がないとやっぱりみんな、ここに気持ちを持っていけないのではないかということで、もう一方、そういう意味で進化していったほしいという提案がありました。

個別のアイデアとしては、例えば防犯カメラって今増えてるけど、どんなところに整備されているかっていうのを、人の言葉も、どんなふうなことに活用されているのかも含めて紹介をしたりとか、意見箱もあるけど、意見箱がどこにあるのかも知らんし、それがどうなったかも分からへんから、そういうのとか、各地区も細やかな行事いろいろやっているの、そういう特集ページはもうちょっと充実したら見るのではとか、あと前回出ていた100周年に向けて漫画で連載とかっていうのも区報でちょっとずつでも連載していったらいいのではないかという意見。といいながらも、やっぱり若い人が見てないだろうなっていうことになって、でもこのメンバーで考えるにしても、それは若い人に聞くしかないなというのがまず一つです。

例えば、公園の情報とか知りたいと思っているのかなと思うけど、現状やともう勝手にドッグラン状態になっていたり、一方で、すごい人が行く公園もあれば、地元の公園は手入れがもう減茶苦茶になってきていると。そこは、本当はもっと来てもらって、手入れも一緒にやってもらったらいのになってというような、次の活動に若い人も関わって、次のよい町になるような情報発信になってほしいなということになりました。以上です。

(拍手)

○西尾課長

貴重なご意見ありがとうございます。

それでは、はい、それでは、こちらの子供関連の方、お願いいたします。

○大西委員

若い情報をとということで、ぴちぴちの20代もいるグループですし、発表させていただきます。

「きらりにしよど」の話、こちらのほうでも出まして、子育て関連ということで、いろいろとどんな情報が必要かとか、どんな情報を皆さん欲しているかというところも踏まえた上でいろいろお話しさせていただきました。今ある情報を子育て世帯、第1子が生まれた若いお母さんは、やっぱり必死になっていろいろと情報を集めるし、集めやすい情報はたくさんありますけれども、小学校、中学校、高校と年代が上がるごとに、だんだん得られる情報が少なくなっているっていうところは、情報を進んで手に入れようという気にならないというところにもつながるんじゃないかっていうお話が出ています。できたら小学生のうちから区の情報に興味を持ってもらうっていうのがとてもいいことじゃないかなということで、先ほどそちらでもお話が出たように、4コマ漫画を載せてみるとか、あとは間違い探し、クロスワード、参加型にしてみる。「きらりにしよど」の表紙なり裏面なりを公募でイラストを募集するとか、小・中学生のお子さんが何か参加できる、そういうコーナーがあれば、掲載されたお子さんがいらっしゃる学年や、学校というのは、その月の「きらりにしよど」をすごく見てくれると思います。そういう参加型をしてみるとか、いろいろチャレンジをしていただいた上で、もっと低い年齢ですね、小・中学生、高校生が情報を得られるようにしていくのもいいのかなと。

あと、子育ての内容のところで、外国籍の方への情報も出まして、多言語で今回、区ですね、子育て情報マップのほうをつくっていただいていますけれども、それがあつことを知っている地域の方ってどれだけいらっしゃるだろうっていう。困っている方が地域にいても、役所に行けばそういう情報があるよっていうところをなかなか伝え切れない現状があるかなと。そういうところの周知も、せめてその地域の中心になっている方にだけでももっと積極的に発信ができればいいのかなというお話になって

います。ぐらいですかね。

あと、個人的に、私が言った意見ですけれども、公式LINEでに～よんと会話ができるともうちょっと楽しいかなという。独り言でも、そういう使い方ができると、私もちょっとやってみたいなとは思いますが。そういうシステムがあるなり、あるといいなと思いました。以上です。

(拍手)

○西尾課長

ありがとうございました。

それでは、最後のチーム、防災チーム、お願いします。

○多田委員

防災班、多田です。

まず、防災班としては、防災に関してどういう情報を発信していくかっていうことで、大まかに2つに分けられるのかなと。まずは、平時からの情報発信、啓発面ですね。あと、やっぱり災害が起こってからの情報発信、有事の際の危機を伝える情報発信の、大体2つに分けられるかなというようなところで分けてみました。

その中でも、特に平時の啓発に対する意見がすごく多かったです。どうやって備えていくかというところですね。その中でも特に、平時の中でも地域としてどういう情報発信をしていくかというところと、対個人に対してどういう情報発信していくかというところでちょっと分かれるかというような気もしました。ちょっといろいろな意見が出ましたが、やっぱり地域の防災の避難訓練の情報であるとか、今は防災イベントもちょっと私のほうでもいろいろ開催させてもらっていますけれども、防災学習会とかの情報っていうのをどうやって発信していくか。例えば西淀に新しく引っ越してきた若い世代とかの方に、今でも転入してきた人にはハザードマップをお渡ししてということが行われていますけれども、例えばそういう人に向けた防災学習会とか、そういうのもあっていいのではないかな。そして、地域とふだん地域活動にはあんまり参画

できてないという人たちのマッチング、そういうことができれば、いわゆる防災リーダーであるとか、私も入っていますけど、水防団とかね、というような新しい人材の確保にもつながってくるのではなかろうかと。特に身体障がいを持っておられる方のシビアな問題もいろいろ出てまいりました。やっぱりハザードマップ点字版をつくってほしいとか、実際、有事のときに、そういう人たちがどうやって逃げるかっていうところは、今、区のほうでも個別に避難支援計画で今やっているところですけども、そういうところは絶対気をつけていかなければいけないねと。

やはり西淀ならではの特殊な問題というのもございます。やはり海拔がとても低いということで、普通の避難所だけでは逃げ切れないので、津波避難ビルの確保が進んでおるわけでございますけれども、例えば有事になったときに、今、区役所と民間のマンションでは協定が結ばれている。ただし、それは区役所とそのマンション業者の間の協定であって、実際にマンションに住んでいる人に周知が進んでいるかなとか。逆に、そこに住んでおられる方と、そこに実際に逃げていく地域の方のコミュニケーションってどうだろうとか。じゃあ、そもそもその津波避難ビルも一応、普通の避難所と合わせて西淀川区民全区民が逃げれる、3階以上に逃げれるような数は確保されている。数は確保されているけど、どうしてもやっぱり地域にばらつきがある。うち、平家とか2階建ての低い家が多いと。同じ町内に津波避難ビルがないみたいな状態もあるので、ただし、一応、114分、津波が到達するまではあるということなので、どうやって分散避難していくかっていうような問題もあるので、この辺のディスコミュニケーションな感じをどうやったら解決していけるかなというところが出ていました。ただ、やっぱりハザードマップにもうちちょっと載せてほしい、海拔の何メートル、これはどれぐらい低いのか、浸水想定は載っていますけど、海拔がどれだけ低いかってあんまり載っていませんよねとか、実際、避難したときに、例えばトイレの問題とかでマンホールトイレとかを使うと思うけど、どこにマンホールトイレを設置できるのかとか、そういう情報ももうちょっとあったほうがいいですよっていうのもありま

した。

やっぱり地域でなかなか防災避難訓練とか避難所開設訓練をやっておられる地域がほとんどだと思いますけれども、コロナで止まっているというのもあると思いますけれど、やっぱり例年マンネリ化しているというような問題もあるかなと思いますし、でも、今ちょっといろいろ状況が変わってきて、地域の独自性、これ大事ですよと。津波避難ビルが少ない地域はどうするのかとか、いやいや、うちは津波避難ビルは十分あるけど、そことの連携ができてない地域はどうするのかっていうような、やっぱり地域独自の情報発信の仕方があるのかなっていうふうに思っています。

あと、個人的に、もっと情報発信の仕方として、例えば小学校とか中学校の備蓄の水とか非常食とか、どれぐらいあるのかっていうのをもうちょっと公表するべきじゃないかなと。意外とないんですよ、実際。ないと思います。大体、ばつと配ったらすぐなくなるとは思いますけど、逆にそれを公表することによって、あっ、やっぱり自分で備えないとあかんという危機意識にもつながるのかなというふうに思っています。

すみません、何か取り留めもなく話していますが。やっぱりそういう情報の中で、ふだん地域活動にもあまり参画してない人もそうですし、中学生にもどんどん防災に携わってもらう必要があるだろうと、こういうそれぞれ対策は進んでいるけど、何かお互いの情報のやり取りがあまりうまくいってないのかなという印象がありました。

すみません、防災班、以上です。

(拍手)

○西尾課長

ありがとうございました。

皆さんの貴重なご意見、これ、「きらりにしよど」がすばらしいと言っていたいでいる一方で、まだまだもっと頑張れと言われておりますので、区役所一丸となつていろいろと頑張っていきたいと思いますが、先ほどおっしゃったように、区民参加型

というのもありますので、またぜひともいろんなアイデアをいただけたらありがたいと思います。

それでは、議長にお返しさせていただきます。

○大垣議長

はい、ありがとうございました。

今ね、4つのほうのブロックに分けて、また発言のほうもしてもらいました。本当にどうもどうもありがとうございました。これのほうもまた記録をしておきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

それでは、ご出席いただいております区選出の市会、府議会議員の皆様方から、これまでの論議を踏まえてご意見を聞いていければいいかなと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

まず、市会議員のほうから行かせていただきます。

市会議員のほうの荒木議員からお願いいたします。

○荒木議員

どうも皆さん、こんばんは。大変ご苦労さまでございます。

先ほどから各テーマに分かれていろんな議論をされていて、発表がございました。とにかく若い人たちの、何ていうか、意見、アイデアですね。これ、本当に素晴らしいものがあるなというふうに思いました。そこでは、正しいお酒の飲み方とか、これはもう学ばないかなというふうに思っているんですけど。こういった皆さん方の議論が、先ほど言われていましたけど、やっぱり実現していかないと、なかなか区政というのは発展しないわけですね。

そこで、今申し上げたいのですけれども、区長CMというのがございまして、これ、非常に大阪市しかないこの制度であります。ですから、こういったところに出た意見は中島区長にしっかりと読み取っていただいて、そして、この区長CMの予算っていうものは各局がもうつけてきますから、その局の、言い方悪いですけども、やりたい

ことをやっているような状況が今あるので、ここに出た意見、例えば緑陰道路ですね、こういったところも含めて、中島区長のほうからもこういった要望が出ましたよと、いろいろあるけれども、一番身近な皆様方の意見ですから、これやってくれということを、これを発信していくのが非常に大事なことはないかなと思います。

それと、「きらりにしよど」、私も見させていただいておりますけれども、本当によくなったと思います。もっともっと、高齢者も多いわけですから、高齢者の皆様方に分かりやすいものをもうちょっと加えていただければ本当にありがたいなというふうに思っておりますので、どうぞよろしくお願いしたいと思います。

本日は、本当にご苦勞さまでございました。ありがとうございました。

(拍手)

○大垣議長

ありがとうございました。

今日は、全員、議員さん、出席というようなことで、全部の意見が聞けるかなと思っております。

では、続きまして、佐々木議員さん、お願いいたします。

○佐々木議員

皆さん、こんばんは。貴重なご意見聞かせていただきまして、本当にありがとうございました。

やはり一番、私自身も皆さんのお話を聞いていて、ふだんから思っているのが、やはりいかに必要な情報を区民の皆様全員に伝わるか、どういう手段が良いかなっていうことで物すごく悩んでいるところです。区役所もLINEとかフェイスブックとかツイッターとかで、そういう形でもやってもらっていますし、広報誌も出しているし、それぞれ特徴があって、届くかどうか本当にそれぞれの層によって違うっていうのをいかに克服できるかなということが課題だと思っています。

ちょっとしょうもない話かもしれませんが、私、2つ提案がございます。

まず1つ、もう全ての人に情報が瞬時に伝わる手段として、全（地域）連合にデジタルサイネージのパネルを1つずつ置く。デジタルサイネージって、こんな画面でいろんな情報がしゅっと替わっていくやつね。あれを1つ置いて、例えば台風の時でもそれを見たら、あっ、区役所に避難所やってるなとか、そんなものが1つあればいいな。区長、いかがですかね。多分、1台数十万円すると思うんですけども。そういう瞬時に伝わるものがあればいいな、あれやったらみんなが見れて、それが音声も出たらもっと最高だなというのを思っています。

あともう一つです。「きらりにしよど」、すごくなりました。中身、すごく濃いです。でもね、どこに何が書いてあるか分かりにくい。そこで、最近、幾つかの市で出ているのが、電車の中吊り広告風のチラシ。だから、特集何々とか、区長、新春会談とか、電車の中吊り風の週刊誌の広告あるじゃないですか。あれで、「きらりにしよど」を紹介する。特集ページ、何とかとか、そんなものがあったら楽しいな。一遍、中吊り広告風市政情報誌って調べたら、結構最近はやってるんですよ。これ、面白い。その表紙なんかは、もうこれ、何か音楽雑誌ちがうかなみたいな、こんなマイク持って、誰か歌っている風とか、それとか、写真で、農村のほうだったら、大根こうやって持っている、そんな若者の写真とか、田舎のほうやったら、漁村の漁師風のやつとか、何かそんな遊び心があったりして、パーンと入ってくるようなのが1個あったら楽しいなっていうふうに思います。いかがでしょうか。

○中島区長

いいですね。楽しく・・・。

○佐々木議員

・・・言わせていただきました。ありがとうございました。

（拍手）

○大垣議長

はい、ありがとうございました。

本当に意見聞かせていただきまして、区長さんのほうもちょっとうなずいておられましたので、ちょっとは前向きに動けるかなと思っておりますので、よろしく願いします。

続きまして、山田議員さんのほうからお願いいたします。

○山田議員

どうもお疲れさまでございます。市会議員、山田でございます。

皆さんの本当にいいご議論、そして発表も聞かせていただきましてありがとうございました。佐々木先生の熱の入ったご提案も聞かせていただきながら、私からは今回、区役所の資料で、LINEの登録者数が何人とかってというような資料で出ていたと思いますけれども、前回この情報というのがテーマになったときに、私からは「きらりにしよど」を全戸配布、コストかけてやっているというのが非常にいいことなんじゃないかということでコメントさせていただいたように記憶をしていますけれども、ただ、全ての人、必要とする人に届くのに全戸配布というのが現時点では有効じゃないかというのと同時に、ただ、このLINEが、登録者が非常に多く増えてきているというのを私も今日知って、区役所も頑張っておられるなと思いながら受け止めをさせていただいたのですが、ちょっと本来はこの地域福祉の吉見委員からの発表ともしかしたら私の今からの発言が矛盾するところもあるかもしれないですけども、このLINEを登録する人が増えていったとすると、要は全ての人に届く手法がどういう形でもいいわけなので、かなりのコストを「きらりにしよど」に現時点で使っていることが、もしかしたらかなりの人が、区民の人がLINEに登録して、LINEで見れるというようなことになってくれば、それをまた皆さんの要望をされる別のことに区役所もお金を使っていくことができるかもしれないというような、そんなような可能性もあるのかなと思いながら、私からも必要に応じて政策企画室とか、市民局さんにもお話しを聞いてみながら、区長さんもそういう視点を一つお考えいただきながら、まあまあどういうやり方があるかなというふうに私も考えていきたいなという

ふうと思ったところでございます。どうもお疲れさまでした。ありがとうございます。

(拍手)

○大垣議長

はい、ありがとうございました。

続きまして、府議会議員の中川議員さんから、よろしくお願いします。

○中川議員

皆様、夜遅くまでお疲れさまでございます。府議会議員の中川誠太です。

10月11日、22時54分から、宇賀なつみとの大阪府議会という、ちょっと番宣なんですけども、何がいたいと言ったら、情報発信を大阪府のほうでもすごい予算を使って、もうかなりのことをいろいろとさせていただいています。この10月11日も僕も出演させていただきますけども、・・・防災というテーマで出演はさせていただく形になりますけども、2年前にもテレビで出演させていただいて、大阪府議会の情報発信をしっかりさせていただきましたのですが、本当にいろんな予算をかけてでも、皆さんに情報を発信するっていう難しさというか、非常にハードルが高くなっていうふうに僕は正直思っているところがあります。でも、だからといって、大阪、西淀川区としての情報発信はこれからも引き続き進めていく必要があるんじゃないかなというふうに思っています。例えば、今日、西尾課長が言っていた外国人専用の名刺のサイズのものですけども、これも大阪府の、最初、事業の話なんですよね。ご意見があったように、西淀川区って外国人の方も多く暮らしているっていう話もありましたので、僕のほうからちょっと、ぜひとも西淀川区にぜひ置いてくれっていう話をお願いさせていただいて、潔く受け入れてくださったっていう経緯があったりします。本当にとにかく情報発信の中で、一つ一つ皆さんに発信するというのは非常にハードルが高いですけども、これからも我々一同になって、しっかりと情報発信をしていきたいと思いますし、冒頭にありました、吉田委員と多田委員からありましたように、我々、しっかりと今日もここに出席させていただいているわけですから、何かありま

したらどんどんご意見をさせていただく必要も、遠慮なくしていただいたらいいんじゃないかなというように私は思っていますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。長くなりました。ありがとうございました。お疲れさまです。

(拍手)

○大垣議長

はい、ありがとうございました。

今、4人の議員の先生方からお話をいただきまして、また、最後に、また区長さんのほうから、これに議会のことに対していろいろありますので、総括というような意味で、ちょっとお話のほう、コメントをよろしくお願いします。

○中島区長

どうも皆様方、本当にありがとうございました。また、先生方もどうもありがとうございました。

皆様、やっぱりいろんな立場の方がいらっしゃいますので、いろんな視点からのご意見を頂戴できたかなというように思っています。なかなか区役所内で思い浮かばなかったというような視点もたくさんあったかなと思っていますので、これ、聞くだけではまた意味ないよと、実現していくことが初めて意味あるよということですので、ぜひ実現に向けて取り組んでいきたいなと思うところでございます。

それで、実はちょっと一つは、今までのいい例をご紹介しますと、1年半ぐらい前に緑陰道路でイベントやろうよということで、ちょうど去年の今頃、11月ぐらいですかね、緑陰道路の大型のオブジェ、タコのオブジェを置きました。それで、実は緑陰道路というのは公園でなくて道路というような形になっております。したがって、そういう展示物を置くということは基本的に駄目やということやったのですけど、私も民間出身ですから、公務員のルールで、破ってとは言いませんけども、いかにやっぱり緩和できるかというところを思いましたので、うちとこの職員にも、やっぱりこれは緩和に向けて動いてくれというような形で動きました。それで、ここに

いる西尾課長なんかが動いてくれたのですけども、その中で一つですね、大きなオブジェ置いても良いけども、24時間監視してくれという条件つけられました。これがまた非常につらい条件。ただですね、これを実現できたのも、ここにいらっしゃいます藤江委員がやったろうというような形で、実はこれ、実現しました。恐らく、まさに局も、これ、実現するとは思ってへんかったんとかうかなと、私どもだけでもできないですし、皆様の、一緒に協力あってできたことだなと思っています。本当にありがたいなと思っています。ぜひこれを機に、やっぱり皆様方と一緒にできることをやっぱりやっていく、今までできへんからいうてやらないというような形ではあかんのかなというように思っています。

それからもう一つ、やはり常に進化する、よくはなったけど、まだまだ進化せんとかかんよと、これ、まさにそのとおりやと思っていますので、それもやっぱり常に進化するというのを、これを心がけていきたいと思っています。

それからもう一つ、山田先生が言われました、実際、紙の情報と、何ていうのかね、LINE等を含めた情報媒体ってどの辺からということですけども、実は、「きらりにしよど」よく見られているかなと思いますけども、実は区民アンケートで5割ぐらいという回答があります。半分の方が見られているけども、半分の方は見られてないと。そしたら、ほんまに5割の人、見てはるのかといいましたら、実は区民アンケートに答えておられるのは、実際のところ3割ぐらいの回答です。恐らくこれは区政にかなり関心を持っておられる方かなと思っています。そうしますと、見られているのが、少なかったら15%、私、多かっても20%ぐらいかなと思ってます。そうしましたら、ここ、9万5,000人ぐらいの人口でございますので、20%ということは1万9,000人、2万人足らずぐらいというようなところで、それで、LINEが5,000人に上ってきましたので、この辺もやはり情報の使い分けというところで、それぞれの年代層、ターゲットというところも加味ながら、どこにどのような情報を伝えるかということ。いっぱい伝えたら良いんですけど、やっぱりコストもかかるということも

ございますので、ぜひこの辺りは今後、使い分けというところをもっとやっていきたいなと思っているところでございます。

いずれにせよ、本当に皆様方、本当に今日、貴重な意見いただきましたので、これを、できたときではなくて、経過などぜひ教えてほしいということでございますので、この辺もですね、私・・・置かせていただいて、ぜひ次回で、今までこういう会議がありました、ここではこういうことができました、ここではこういうことができました、ここ、今、こういう途中ですというような、この辺も含めて、ぜひ報告のほうをさせていただきたいと思いますので、また皆様方も本当にご協力、ご支援のほうをどうぞよろしくお願い申し上げます。本日はどうもありがとうございました。

(拍手)

○大垣議長

はい、ありがとうございました。

本当に充実した会と思いましたんですけどね。

その他のことというようなことで、事務局からのほうへ案内のお願いいたします。

○西尾課長

それでは、私からその他ということで、1枚目の次第に書かせていただいています、次回の区政会議の日程を決めさせていただきました。12月19日月曜日でございます。今のうちに予定に入れといていただきますよう、よろしくお願いいたします。

それと、先ほども皆さん、いろんなご意見がございました。いつも言っていますように、メールでもその都度で結構でございますので、いろんな意見交換もさせていただきたいと、会議だけじゃなくて、それ以外でもいろんな意見交換はさせていただきたいと思いますので、ぜひともいろんなご提案とかご意見とかいただくとありがたいと思っておりますので、ぜひ今後ともどうぞよろしくお願いいたします。以上でございます。

○香川副議長

皆様、大変長いお時間ありがとうございました。滞りなく議事が進行いたしましたこと、皆様のおかげでございます。本当にありがとうございます。

前回に続きまして、グループワークということで、大変白熱したお話し合いだったと思っております。本当に各班の皆様方はすばらしい、本当にいいご意見をたくさんお持ちで、本当にここの場にいるということはお勉強になるなと思って、私、本当に皆さんはすばらしいというふうに改めて感じさせていただいております。本当にありがとうございます。

また、この皆様が出されましたご意見、忘れることなく次へとつなげてまいりたいと思っておりますので、どうぞ皆さん、もう言っても無理とか思わないで、どうぞいろんなご意見をいただけましたら、私たち、こちらのほうでもいろいろと考えてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

本日は本当に長いお時間ありがとうございました。次回、12月19日月曜日でございます。お忘れにならないように、よろしくご出席お願いいたします。本日はありがとうございました。

○大垣議長

ありがとうございました。

(拍手)

—了—